

○事業所名	ブチメビ		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 31日 ～ 2025年 11月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 10月 10日 ～ 2025年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達年齢や課題に合わせて2つ活動を用意している。	年齢や個人の発達課題に合わせて、低年齢向けの活動（感覚あそび、体験活動）や高学年向けの活動（生活スキル、作業）を用意し、小集団での支援を提供している。	それぞれの活動内容を提供していくうえで各職員のスキルをあげることでどの職員が支援に入っても同じ質が確保できるように研修などに参加し、知識をつけていく。
2	専門職（音楽療法士）による活動機会の提供	年齢だけでなく、身体的発達段階に合わせた項目を組み合わせ、自己の形成だけでなく、友だちと触れ合うことで社会性を身に着ける機会を提供することができている。	各項目での意図や目的を全職員が理解し、子どもの「できた!」を増やせるようにマニュアルなどを用意していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けのイベントを開催する機会を持てておらず、保護者支援が弱い	開催規模やテーマ設定、時期の検討は行うが、開催に至るまでの企画立案ができていない。	SNSなどによる写真の共有だけでなく、実際に活動の様子を見てもらう機会を作る。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会が少ない	所属地域の学童さんと夏休みに合同企画に参加したが、継続的なかわりを構築している最中のため、頻度は少ない	交流の機会が増えるよう、定期的に連絡を取り合いながらお互いが協力しあえる関係性を作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

ブチメビ

公表日 2025年12月

利用児童数 2025年12月1日現在 30名

回収数 18名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	0	2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	5	0	3	途中で迎えに来てくださいと言われた場合、仕事をしている為すぐに迎えに行けない 配置人数がと言われたので足りてないかなと思う	状況によって、ご家族様の負担を増やしてしまうこともありますが、お子様もご家族様も安心できるよう努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3	0	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	12	4	0	2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	5	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	2	0	3		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	1	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	4	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	4	7		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	0	8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	4	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	0	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	3	0	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	3	8		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	0	4		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	0	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	6	活動内容が簡易的に書かれているので、わからない。訓練に限らず、他のことも活動内容を詳しく書いていただけると嬉しいです。	送迎時や面談時に具体的にお話できるようにしています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1	0	2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	4	0	1	子どもの毎回の活動の様子が掴みにくい。連絡帳や写真の個別配信などあったら嬉しいと思う	肖像権使用の同意をいただけていない方もいるため、配信できる写真の数が少なく申し訳ありません。面談時や送迎時などお見せする機会を増やせるよう検討します

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年12月					
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	4	3	活動を分けることでスペースを確保している。 机やいすのレイアウトを工夫し過ごしている。	車いすの方もいるときは、手狭な空間で接触のリスクもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	2	1	ヘルプに来てもらうことで支援時間中の人員は充足している。	トイレ介助や個別対応時には、不足してしまうこともある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	0	全体スケジュールや個別ツールを使用して行っている。	生活介護利用者様とトイレ使用の時間が重なるとすぐにトイレへ連れていくことができない。 主活動以外の共用の部屋について、環境整備が不十分。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	0	エアドッグの使用により、空気循環を徹底している。 支援後に清掃を行っている。	主活動部屋以外は、外靴で過ごす空間のため、床に座ることが難しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	1	デントやパーティションを使用して空間を作ることができる。	デントについては、都度出す必要があり対応できていないときもある。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	0	週一回の会議を設定しており、原則全職員が参加している。 いつでも見返せるようOneNoteを使用。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	0	会議や引継ぎの際に意見を聞き、全職員で解決できる策を考えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	0	法人研修が年に一度開催されている。協議会主催の研修に全職員が参加できるようにしている。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	0	HPにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	0	全職員が立案に三画している。 保護者面談時に保護者様からの意向を確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	0	個別支援計画策定会議を全職員参加で行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	0	毎日の記録のほかに、MEPA-R（ムーブメント教育・療育プログラムアセスメント）を使用	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	0	会議で共有している	地域支援・地域連携の支援内容の質をあげられるようにする
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	0	会議の際に素案を基に全職員で意見を出し合いながら修正している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0	季節に合わせた活動を考えている 大枠は固定化しつつも、詳細については利用者様に合わせて変えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	0	自立課題の取り組みを行っている 日直の係を月1回行ってもらっている	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	0	申し送りを送迎開始前に行っている 活動内容を何時でも確認できるようデータ保存している。	ヘルプに来てもらう職員に対しての時間が不十分なときがある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	0	翌日の申し送りの際や会議の場だけでなく、都度口頭で確認が取れるようにしている 映像で確認ができるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	改善点が出たときには、全職員で検討し改善している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	0	新規利用者様は半期に2回モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	0	個々の課題、能力に合わせて行っている。	地域交流の活動は長期休暇期間に限定している。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を する力を育てるための支援を行っているか。	6	1	0	子どもに合わせて、イラストや口頭などツールを使用し、選択できる環境を設定	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	1	保護者から伝達してもらっている。 引継ぎ時に具体的な様子を共有してもらうときもある	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	0	新1年生については、面談の場に同席することで、情報を共有している	利用開始してから連携を取る機会を持っていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	0	法人内事業所については情報を提供することができている	法人外の事業所に移行した場合、提供できていない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	0	所属する小学校区の学童クラブと合同でイベントを開催	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2	0	非常勤職員の参加も促している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	0	送迎時に要点をまとめて伝えている。それ以外にもLINEを活用し、こまめに連絡を取れるようにしている	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	3		家族向けのイベントを開催できていないため、企画を放棄していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	0	契約時や利用時など不明な点が挙がったときに都度説明を行っている。	掲示はしているが、保護者周知が十分ではないところもある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0	面談時に保護者様の意向も含めて作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	0	対面での説明を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	対面や電話など様々な形で相談を受け、対応を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	3	3	法人内できょうだい会を行っている。	家族間が関わる機会を設ける企画を行っていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	年3回事業所通信を発行。 活動様子については、Instagramを使用。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0	文字盤や筆談などコミュニケーションツールを使用	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	0	年1度の地域開放イベントを開催	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	0	マニュアルは掲示してみてもらえるようにしている。	年度初めに周知などの対応を行えていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	年2回避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	0	契約時に確認し、非常用内服薬を預かっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	事業所内で委員会を設置し、管理している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	0	身体拘束委員会が管理運営し、保護者様に説明の場を設けている。	